

団体名	がんばろう！つばさネットワーク
活動テーマ	被災地の元気に貢献する、被災地・大阪間の高校生交流事業



開会式は 500 名の参加で大盛況 20170325



北摂つばさ高、気仙沼高、登米高の部員 20170326



会場とホスト家族の間をエスコート



送迎の間にも大阪・宮城の会話が弾みます

がんばろう！つばさネットワークは東日本大震災を目の当たりにした高校生の「何かしなければ」という思いに応えるべく平成 23 年 4 月 22 日に設立した団体です。これまで 8 回の気仙沼現地ボランティアで高校生 339 名を派遣し、5 回の大阪招待で高校生 136 名を受け入れ交流してきました(平成 29 年 3 月 24 日現在)。

これまでの経過を踏まえて、年度末の 3 月 25-27 日に気仙沼高校、登米高校の 2 校 31 名の高校生、5 名の教員を受け入れ、交流しました(歓迎会は約 500 人参加)。

その目的は①被災地の「忘れられている」という不安を払拭し被災地の高校生の活性化で被災地の元気に貢献したい、②南海トラフ地震に備え、高校生が中心になって学校・地域・市民団体の防災ネットワークを作りたい、ということです。方法としては、①高校生の送迎活動により、地域の方々による被災地からの高校生のホームステイを実現すること、②北摂つばさ高校の主催で野球試合を実施し北摂の 4 校と練習試合を実施すること、です。

その結果、①大阪と宮城の高校生の交流が盛り上がり、大阪の「私達は被災地のことを忘れていない」のメッセージを被災地にお届けすることができました。②高校生の活動を支えるネットワークが拡大し、茨木市内のユネスコスクール、地域自治会、市役所、スポーツ少年団、市民活動センター、茨木商工会議所、茨木商業団体連合会、茨木市内の全郵便局、企業・事業者の協力を得て、受け入れ態勢の持続可能性を高めることができました。

今回の大きな成果があがりましたのも、ひとえに公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団の助成を得たからこそと考えております。現在、平成 29 年度は 7 月に気仙沼での訪問と交流、3 月に大阪での受け入れ、と来年度の準備を進めています。今後とも活動へのご理解とご支援をいただければ幸いです。ありがとうございました。